

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
きっずサポートえみ（放デイ）		2024年 10月 10日				12名		6	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見			
						ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2		1		・建物の構造上、難しい部分もありますが、様々な工夫をしながら、お子さんたちがのびのびと活動できるスペースを確保できるようにします。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1		1	・知らされておらずわかりません ・適切だと思います	・えみでは、子どもの安全と質の高い支援を提供するためにできる限り子ども2人に対し職員1人に対応する体制を取っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1		4	・確認したことがなかったです ・バリアフリーな環境だと思います	・子どもの年齢や発達段階、障害特性に応じて見通しを立てやすいように流れボードやイラストを取り入れています。また、子どもたちが自分の特性を理解し、必要な情報を得ていく力や誰かに聞く、助けを求める力を培っていくために不親切な部分もありますが、配慮と子どもたちの持つ力のバランスを取りながら対応をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4			2		・朝と夕方の2回清掃を行っていますが、業務時間の関係で細かい部分までは取り掛かれていないため、5Sの意識を職員一人一人が持ち、清潔な環境を維持できるようにします。 ・普段の清掃とは別に定期的には掃除を取り入れて細かい部分の清掃をします。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					・支援プログラムはホームページにて公表しています。支援プログラムに沿った支援を心がけていますが、子どもによっては、支援プログラムにこだわらず、その子に合った支援を行うこともあります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		・個別支援計画はお子さんの課題を踏まえ、できる限り保護者が分かりやすく、イメージしやすいように作成をしています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					・曜日固定で利用されているお子さんと毎日利用するお子さんが同じ内容で飽きないように、日々の活動プログラムは同じ内容を行うことはありません。同じテーマになりやすいもの（リズム遊びや公園遊び）も内容は前回と異なる内容を作るルールをとっています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	2	3	・現状で十分だと思います	・日程、時間や立地の関係もあり、放課後児童クラブとの交流を図ることが難しい部分がありますが、イベントや屋外活動の機会を利用して地域や他の園の子どもとの交流を図っていきます。 ・また、土曜日の活動で定期的に児童館での活動を入れており、地域の他の子どもと一緒に交流をすることもあります。	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1				・契約時にできる限り、説明をさせていただいておりますが、もし漏れがありましたら遠慮なくお伺いください。また、支援プログラムは、今年から新しくできましたので、改めて保護者の皆様にご説明をさせていただきます。		
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1				・今後、より個別支援計画を丁寧に説明するために、保護者面談時に時間を作ったり、送迎時に個別支援計画の補足を丁寧にできるように環境を整えていきます。		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	2	3			・事業所内ではスペースの関係で限られた人数しか対応できないため、今後別の場所を借りて行いたいと思います。		
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6							

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6						・体制を整えて定期面談の機会を増やしていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		2		4			・その必要性はないと思います ・実施されても参加できないと思います	・事業所内ではスペースの関係で限られた人数しか対応ができないため、保護者の皆様の意見を参考にしながら、今後別の場所を借りて親子参加や保護者同士の交流ができる内容を設けていきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6							・相談や申し入れがあればいつでも遠慮なくお伝えください。できる限りお時間を確保して対応させていただきます。 ・対面でのやりとりが難しい場合は、お電話やLINEでのやり取りも対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6						・情報共有は丁寧に行っています	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6							・インスタグラムやSNSはもちろん、お子さんも一緒に見て楽しめるように、紙の定期通信も検討しています。また、アプリを使用しているため、定期的に様々な情報を発信できるようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6							
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2	2			・現在、現場の緊急時などの各種マニュアルを作成しています。それをもとに事業所での緊急時のルール・対応を改めて保護者の皆様にお伝えいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4				2			・月に1回ほど、プログラムの中で避難訓練を行っています。現在は震災時を対象にしていますが、火災や不審者を想定した訓練も実施して行きます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6							・安全計画は策定をし、事業所にファイルで備え付けてありますが、保護者の皆様に周知ができていないため、今後事業所のホームページに掲載をします。また連絡アプリを使用して全保護者に安全計画の内容を周知していく予定です。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6							・小さな怪我でもできる限りその場で怪我の状態を写真に撮り、LINEですぐに状況の説明をしています。それと合わせて、送迎時にも改めてお伝えすることを徹底しています。 ・事故や怪我を未然に防ぐことをなにより1番に意識した支援を実施するよう職員への指導や働きかけに力を入れています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6							・集団療育で社会性を身につける中で、注意をすることも時には必要ですが、注意ではなく、子どもたちの気持ちと納得がいくまで向き合うことも大切にしています。これから子どもたちに安心感や信頼感を持ってもらえるように丁寧な対応を心がけます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6							・集団の中で社会性を身につけるために様々なプログラムを行っています。子どもたちにとってはルールを守る＝自分の思うとおりにならないことも多々あるかと思いますが、それでも職員はまず「楽しんでほしい」という気持ちをもって子どもたちと関わっています。お子さんが少しでも「楽しかった」といってもらえることが一番の励みです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6						・いつも細やかな対応ありがとうございます	・いつも事業所を利用いただき、誠にありがとうございます。えみでは集団療育をベースに子どもたちが社会性を身につけることを目的として日々活動をしています。これからも質の高い支援ができるように職員一同頑張っております。